

学校教育目標

「夢に向かって自ら学ぶ人」「人とのつながり（絆）を大切にする人」「誇りをもってふるさとを語れる人」

学校経営目標（中期経営目標）

「ウェルビーイングの実現を目指して、知・徳・体の調和がとれ自・和を

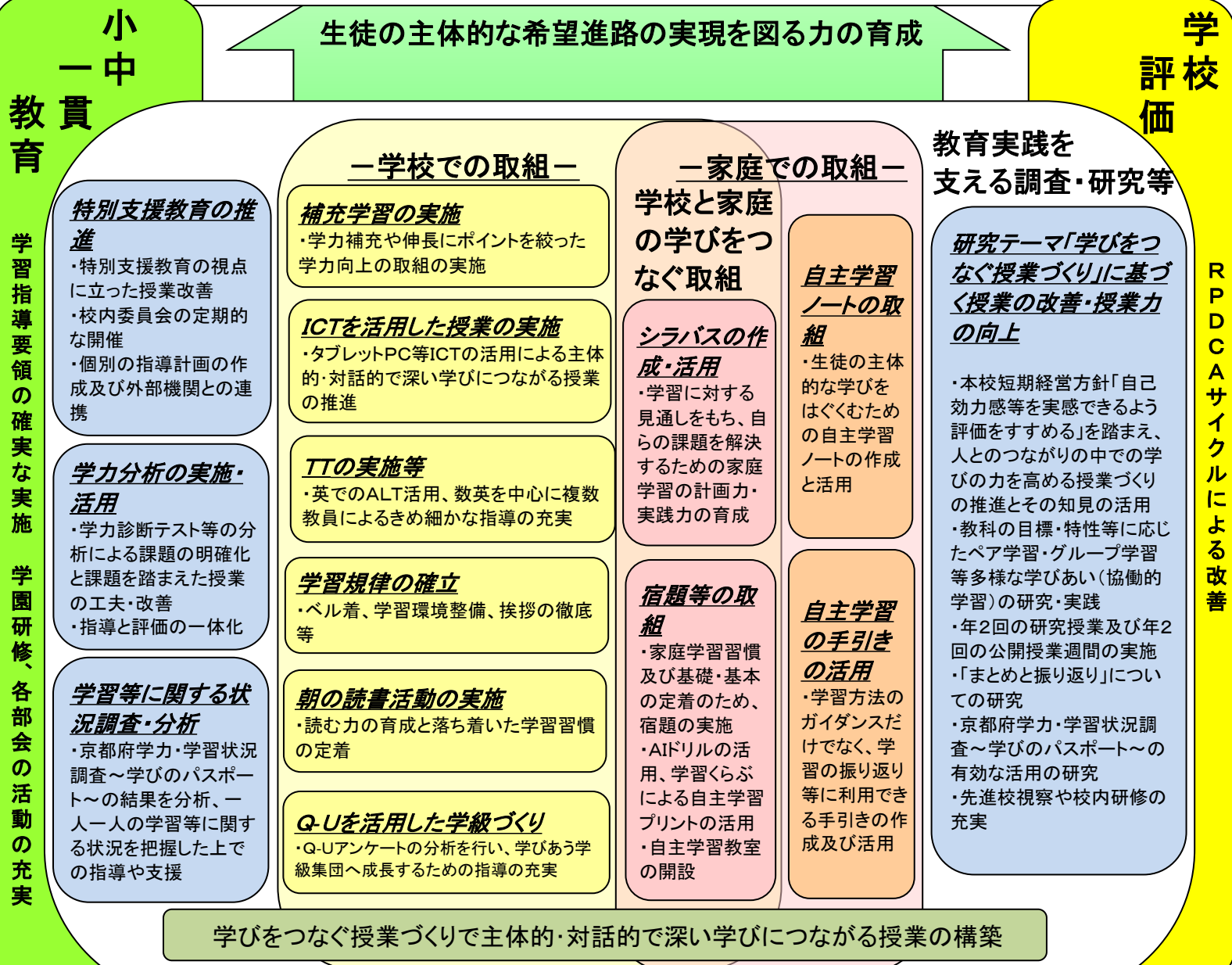
大切にできる体系的な教育をすすめ、地域と協働する学校づくり」

- 1 人とのつながりや様々な体験等を通して、人権尊重の心を育み、社会的に自立した人間としての基盤を培う。
- 2 学習指導要領の趣旨を踏まえ、小中一貫教育を通して、確かな学力をはぐむ。
- 3 生徒指導の実践上の4つの視点及び生徒理解に基づく教育をすすめ、豊かな心と健やかな身体をはぐむ。
- 4 保護者や地域から信頼され、愛されるチーム「維孝館」の構築を図り、地域と協働する学校づくりをすすめる。

町教育大綱
「基本理念」
・人がつながる
・未来につながる
・まちぐるみの教育

短期経営目標

- 1 学校・社会生活の基盤育成のため、教育活動すべてで行動指針の徹底と評価を行う。
- 2 人権学習をはじめ、全教育活動において生徒の人権意識の高揚を図る。
- 3 社会的・職業的に自立した人間としての基盤に必要となるコミュニケーション力、自律の力をはじめとする様々な力（非認知能力）を培い、生徒自らが希望進路実現を図る姿勢を育成するとともに、生徒が自己効力感等を実感できるよう評価をすすめる。
- 4 「学びをつなぐ授業づくり」の研究・実践にタブレットPC等ICTの利活用を加え、主体的・対話的で深い学びにつながる授業等の構築を図る。さらに、京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～を有効に活用し、学力向上に努める。
- 5 学習指導要領の評価・評定を確実に行うとともに、指導と評価の一体化を図り、集団への指導等ガイダンスと個別に対応したカウンセリングにより、生徒の発達を支援する。
- 6 学習指導要領の趣旨を踏まえて、教育課程をカリキュラム・マネジメント及び働き方改革の視点から、整理・改善を図る。
- 7 ボランティア活動等地域の一員としての意識を醸成する取組をすすめるとともに、地域人材等の活用・参画や学校行事等への参加を促し、家庭・学校と協働できる学校づくりを図る。
- 8 学校及び小中一貫教育の様々な取組等を保護者・地域へ積極的に情報発信する。



一行動指針一 「時間を守り、場を清め、礼を正す。」 教師との信頼関係 望ましい学級等の集団

一地域の教育力の活用一 社会人講師・支援サポーター・学生ボランティア